

眼科ファイリングシステム

割賦販売契約仕様書

2022年7月

島根県済生会江津総合病院

I. 契約名

眼科ファイリングシステム割賦販売契約

II. 契約期間

5年間

賦払期間の満了後（割賦販売代金の支払後）は、調達物品の所有権を島根県済生会江津総合病院へ移転すること。

III. 調達物品の構成内容

機器名：眼科ファイリングシステム	1式
(内訳)	(数量)
1. 無散瞳眼底カメラ	1式
2. スライディングテーブル	1式
3. スリットランプ	1式
4. 画像ファイリングシステム	1式
5. 自動視野計	1式
6. スペキュラーマイクロスコープ	1式

IV. 設置場所：外来（眼科）

V. 基本的要件

1. 納品は令和4年12月末日までに完了させること。
2. 搬入、据付、調整を含み、即使用可能な状態とすること。
3. 接続費用、搬送料、組立設置料は本体費用に含めること。
4. 本調達物品の使用者及び関係者に対して、担当者より操作方法等についての説明・教育を行うこと。
5. 納品引き渡しは全ての機器が正常に作動し、即使用できることを確認し、取扱説明書など必要と思われる書類の提出、当院スタッフへの取扱説明を行った上で、納品完了とすること。
6. 入札機種のうち医療器具に関しては、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の承認を得た物品であること。
7. 薬事法に基づく（薬事認可が必要な機器のみ）医療承認を得ている装置であること。
8. アフター体制が万全であり緊急連絡先がわかるようにしておくこと。
9. 修理・問い合わせが発生した際は速やかに対応できること。
10. 本調達物品の保守契約については、「画像ファイリングシステム」はHard保守（納入から5年間）を含めること。その他の機器等については、この割賦販売契約とは別に、機器メーカーと島根県済生会江津総合病院にて、協議するものとする。

11. 本仕様に関して疑義が生じた場合には双方協議の上解決すること。
12. 本件買入れの際に知り得た情報については、第三者に漏洩してはならない。

VI. 調達物品に必要な仕様

1. 無散瞳眼底カメラ
別添、個別仕様書①のとおり
2. スライディングテーブル
別添、個別仕様書②のとおり
3. スリットランプ
別添、個別仕様書③のとおり
4. 画像ファイリングシステム
別添、個別仕様書④のとおり
5. 自動視野計
別添、個別仕様書⑤のとおり
6. スペキュラーマイクロスコープ
別添、個別仕様書⑥のとおり

眼科ファイリングシステム

個別仕様書①

[無散瞳眼底カメラ]

2022年7月

島根県済生会江津総合病院

I. 調達物品の名称

無散瞳眼底カメラ

(想定は、株式会社トプコン TRC-NW8F とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものも可とする。)

II. 構成内容

無散瞳眼底カメラ本体 1台

撮影カメラ 1式

撮影ソフトウェア 1式

デジタルカラープリンター 1台

電動光学台 1台

III. 仕様

1. 無散瞳で撮影可能な眼底カメラであること。
2. 簡単且つ確実な操作性であること。
3. デジタルカメラを搭載していること。
4. 老人保健法に定められた撮影ができること。
5. 蛍光眼底撮影 (FA 撮影) 機能を有していること。
6. 撮影したその場で画像の確認が出来ること。
7. パソコンに撮影データを保存できること。パソコンから他のシステムに撮影データを出力するシステムの拡張性があること。
8. 眼底観察用の液晶モニターが真正面に配置され、アライメント合わせは2輝点を1点に合わせる容易な方式であること。
9. オートフォーカス・オートシャット機能を搭載し、撮影操作のアシスト機能を有していること。
10. 瞬き検知機能を搭載し、撮影失敗を軽減する機能を有していること。
11. 小瞳孔モード機能を搭載し、瞳孔径 ϕ 3.3mmの撮影が可能なこと。
12. 内部固視標を用いた周辺撮影機能を搭載し、外部固視を使用しなくても周辺撮影が可能なこと。
13. 蛍光眼底撮影中、赤外光観察で眼底を観察することが可能で被検者の負担軽減が可能であること。
14. 蛍光眼底撮影のモード切り替えがボタン一つで行うことができること。
15. 蛍光眼底撮影時にタイマー情報を撮影した画像に付加して保存できること。
16. 補正レンズの範囲が
- : -33D~-12D、+9D~+40D で強度近視-33D、強度遠視+40D の被検者も撮影できること。
17. 外部固視灯が標準搭載で内部固視が困難な被検者の固視誘導ができること。

眼科ファイリングシステム

個別仕様書②

[スライディングテーブル]

2022年7月

島根県済生会江津総合病院

I. 調達物品の名称

スライディングテーブル

(想定は、株式会社イナミ K-1750 とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものも可とする。)

II. 構成内容

スライディングテーブル本体 1台

III. 仕様

1. テーブル寸法 D:865mm×W:400mm。上下ストローク 280mm、スライドストローク 500mm、最低地上高 662mm、最高地上高 942mm なこと (モニターアームを取り付けた場合、H:1421mm なこと)。
2. 重量 92kg であること。
3. 最大荷重 30kg であること。
4. テーブルスライドスピードが 132~93mm/s であること。
5. テーブル昇降スピード 上昇時 23mm/s、下降時 28mm/s であること。
6. サービスコンセントを3ヶ所設けていること。
7. 長いスライドストロークであるため、車椅子の患者様に対応しやすく上下ストローク最低地上高がより低く、最高地上高が高いため、座高の低いお子様やお年寄りから、座高の高い大きな患者様までより広範囲な患者様への対応が可能なこと。
8. 安全性を考慮し、ケアテーブル作動中は、スライディングテーブルの OUT-IN 操作が行えないこと。
9. フルオートマチックと OUT-IN セミオート (手動) の操作が可能なこと。
10. 無線タイプの電動患者椅子 (リバティスシリーズ) の UP-DOWN が手元スイッチ操作にて可能なこと。
11. フルオートマチック操作時の IN・OUT 引き出し式レバースイッチ、UP-DOWN は上下動レバースイッチと、人間工学を第一に考え、誤作動を防ぎやすい設計と配置なこと。
12. 各スイッチ部が点灯するので、暗室に対応すること。

眼科ファイリングシステム

個別仕様書③

[スリットランプ]

2022年7月

島根県済生会江津総合病院

I. 調達物品の名称

スリットランプ

(想定は、株式会社タカギセイコー 4ZL とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものも可とする。)

II. 構成内容

スリットランプ本体 1台

アプラネーショントノメーター 1台

トノメーターベース

コンビネーションアダプター

トリガーケーブル

スライディング取付キット

DIRECT 変換ケーブル

小型 3 CMOS フルハイビジョンカメラ 1台

III. 機器の概要

本器は前眼部、中間透光体ならびに眼底検査を行う為に必須の器械であり、ヒトの眼球及びその周辺の疾患を正確に診断する為に疾患部分をより詳細に拡大観察する為の装置である。

IV. 使用条件

検査を容易にする為、明室でないこと。

V. 仕様、技術的要件

1. 光源に高輝度 LED を採用していること。
2. 電源ケーブル等の各種配線を外部に露出しない仕様であること。
3. 接眼鏡筒は 6 度内方へ傾斜し、自然な眼位で融像が可能であること。
4. バックグランド照明装置を標準装備しスリットランプに装備された手元ボリュームにて操作コントロールが可能であること。
5. 光路間距離は 22mm を採用し、眼底観察に適した光学系の仕様であること。
6. 照明径が最大 14mm を採用し、前眼部をより広く観察することが可能であること。
7. 手元のジョイスティックにてブースト / シャッター機能の切替が可能であること。
8. 手元の輝度ボリュームダイヤルにより、メイン照明側とバックグランド照明側の調光の操作がそれぞれ操作可能であること。
9. ヘッドレストは、前置レンズを保持できる様フィンガーレスト機能を有していること。
10. 固視灯は柔軟な操作と固定が可能で、ON / OFF 機能を有していること。

眼科ファイリングシステム

個別仕様書④

[画像ファイリングシステム]

2022年7月

島根県済生会江津総合病院

I. 調達物品の名称

画像ファイリングシステム

(想定は、株式会社ビーライン Medi picture とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものも可とする。)

II. 構成内容

スリットランプ画像取込 1式

OCT 画像取込 1式

ハンフリー自動視野計画像取込 (デスクトップPC等) 1式

眼底カメラ画像取込 1式

トポグラフィー画像取込 1式

スペキュラーマイクロスコープ画像取込 1式

参照用PC 1式

メインサーバー 1式

ネットワーク構築費 1式

バーコードリーダー 7個

Hard 保守 (納入から5年間)

その他作業費、データ移行費 1式

III. 仕様

1 ハードウェア

パソコン本体

OS	Microsoft Windows10 Pro 64bit
CPU	Intel Core i3 プロセッサー 2GHz 以上の機能を有すること
メモリ	8GB 以上
ハードディスク	内蔵型 HDD500GB 以上
ディスプレイ	21.5 型ワイドカラー液晶 (フルHD 1980×1080) 推奨
L A N	1000BASE-T を内蔵すること
USB	内蔵 USB ポートを 5 個以上搭載すること
拡張スロット	PCIExpress(x16)、PCIExpress(x1)を搭載すること

2 ソフトウェア

要求機能

- サムネイル表示・サムネイルリストから、汎用画像の検索が可能であること。
- サムネイル上に検査日・加筆状態・画像種別等の情報を表示できること。
- 撮影日・画像種別・診療科・各フラグ情報等でサムネイルを絞り込んで表示する機能を有すること。

- ・ 汎用画像を表示するエリアは、全画面表示・2分割表示・4分割表示可能で、表示する汎用画像をサムネイルから指定できること。
- ・ 患者説明時に説明内容を判り易くするために、汎用画像に対して加筆修正が可能であること。
- ・ 加筆修正時に、キーボード・マウスの他にペンタブレットデバイスからの入力を有効に利用可能な仕組みを持つこと。（筆圧感知・スムーズなペンの軌跡を再現できること。）
- ・ 加筆修正時に、矩形・円の描画、自由線・直線の描画、テキスト入力ができること。
- ・ 加筆修正した内容は、オリジナルの汎用画像とは別に管理し、オリジナルと加筆修正後の汎用画像が切り替え表示できること。
- ・ 加筆修正の履歴が、全て更新履歴として保存されていること。
- ・ シェーマを登録することができ、登録されたシェーマを呼び出し加筆した結果を汎用画像として登録できること。
- ・ 過去に記載したシェーマを使用して新たに作成することができること。
- ・ 汎用画像として取り込まれた動画の再生機能を有すること。
- ・ 再生機能は、停止・再生・繰り返し再生の指定が可能であること。
- ・ 動画を再生中に取り込み指示を行い、静止画の汎用画像として新たに登録できること。
- ・ 現在表示している汎用画像をクライアントに接続されたプリンタにプリントアウトできること。
- ・ 登録済みの汎用画像を指定のフォルダに JPEG 画像としてエクスポートできること。
- ・ 汎用画像単位に、画像種別・撮影日・撮影者（検査者）・追加テキスト情報を汎用画像付加情報として登録できること。
- ・ S-VIDEO 信号又はコンポジット信号で信号出力する検査機器(超音波装置等)から、静止画・動画が取り込めること。
- ・ USB 経由でデータ連携するデジタルカメラ接続機器から、静止画が取り込めること
- ・ デジタルカメラからの取り込みでは、患者単位か一括(複数患者)科の指定ができ、一括で取り込んだ場合患者単位に振り分けできること。病棟におけるデジタルカメラ取り込み機能として、無線対応 SD カードを経由した取り込みに対応すること。
- ・ 静止画・動画の取り込みが、キーボード・マウス・フットスイッチ・手元スイッチ等で行えること。
- ・ 動画の取り込み時間を指定できる録画タイマ機能を有し、指定時間経過後、録画が自動的に停止すること。
- ・ 録画タイマは、通常使用する指定時間を解除して一時的に任意の時間を指定できること。
- ・ 取り込んだ静止画・動画に関連付けて、画像種別・日時等の汎用画像付加情報を自動的に付与する機能を有すること。
- ・ イメージスキャナから汎用画像の取り込みが可能で、取り込んだ汎用画像に種別フラグ（汎用画像の種別、部位、日時など）を設定できる機能を有すること。

- ・ スペキュラ解析結果の画像管理が行えること。
- ・ OCT 解析結果の画像管理が行えること。
- ・ 超音波眼軸長測定装置の数値画像管理が行えること。
- ・ 各種検査結果は検査日・検査者の別を持って検査サマリ画面で全て管理可能なこと。
- ・ 検査サマリ画面から当該の検査をクリックすることで当該の画像や数値が表示されること。
- ・ 画像検査・数値検査を含めて、当日の全ての検査結果を日別検査一覧として表示管理する機能を有すること。
- ・ 日別検査一覧から任意の検査をクリックすることで、当該検査データが表示されること。
- ・ 画像検査機器についてそれぞれ専用の連携プログラムにより自動的に画像や左右眼の情報を取り込みできること。
- ・ タイマ機能をもって FAG/ICG の静止画・動画の取り込みが行えること。
- ・ 数値を出力する検査機器と直接連携して数値検査データを取得できること。
- ・ ノンコン・レフケラ・レンズメータ・視野計等のシリアルポート経由の数値検査結果を各機器・メーカ毎に解析し、有効に取り込みが行えること。
- ・ 登録済みの汎用画像に対して削除ができること。
- ・ 汎用画像削除時、汎用画像及び汎用画像付加情報は物理的に削除されず論理削除を行うのみとし必要に応じて内容を参照できること。

眼科ファイリングシステム

個別仕様書⑤

[自動視野計]

2022年7月

島根県済生会江津総合病院

I. 調達物品の名称

自動視野計

(想定は、カールツァイスメディテック社 HFAIIIモデル 840 型とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものも可とする。)

II. 構成内容

自動視野計 本体 1 式

附属プリンタ 1 式

III. 仕様

[自動視野計]

1. 検者の熟練度に左右されない客観的・再現性のある検査結果が得られること。
2. 各種疾患に対応した検査プログラムの選択が可能であること。
3. 検査結果を本体ハードディスクに記憶出来ること。
4. データベース保護のため、ハードディスクの内容を外部保存媒体に記憶出来ること。
5. 診断補助のための統計解析が臨床現場で行なえること。
6. 5 に適応した統計解析ソフトを標準装備していること。
7. 緑内障性視野欠損の進行の有無を判別するソフトを標準装備していること。
8. 操作は画面に直接指で触れて行なうタッチスクリーン方式を採用しており、初めて扱う被検者でも簡単に操作できること。

[附属プリンタ]

1. 検査結果は印刷可能であること。
2. プリンタは自動視野計本体とUSBケーブルにて接続が可能であること
3. プリンタ用紙が簡単に交換できること

眼科ファイリングシステム

個別仕様書⑥

[スペキュラーマイクロスコープ]

2022年7月

島根県済生会江津総合病院

I. 調達物品の名称

スペキュラーマイクロスコープ

(想定は、株式会社トーメーコーポレーション EM-4000 とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものも可とする。)

II. 構成内容

スペキュラーマイクロスコープ 1台

デジタルモノクロプリンター 1台

電動光学台 1台

天板 1台

プリンターラック 1台

III. 仕様

[角膜内皮観察解析]

撮影方式：非接触

撮影範囲：0.25 (W) × 0.54 (H) mm

撮影モード：オート／マニュアル

撮影部位：中心＋傍中心 6点＋周辺 6点

角膜厚測定：可

角膜厚測定精度：±10 μm

解析方法：自動解析／Lカウント法／トレース法／Core法

解析数値：NUM (解析細胞数)、CD (細胞密度)、AVG (平均細胞面積)、SD (細胞面積の標準偏差)、CV (細胞面積の変動係数)、MAX (最大細胞面積)、MIN (最小細胞面積)、6A (六角形細胞出現率)、ヒストグラム Area (Polymegathism：面積別分布)、Apex (Plemorphism：角形別分布)

[本体]

表示：10.4 インチ カラー液晶チルトモニター タッチパネル操作

データ出力：USB コネクター／LAN コネクター

寸法・重量：309 (W) × 491 (D) × 450 (H) mm / 約 22kg

[プリンター]

内臓サーマルプリンター